

地域福祉に関する市民アンケート

【結果の概要】

目 次

結果のポイント	1
1 調査概要	4
2 回答者の属性	4
3 地域での暮らしに関する環境	11
4 定住意向	13
5 地域での助けあい	14
6 災害時の避難	19
7 地域での活動	20
調査票	24

平成 25 年 7 月

結果のポイント

【地域での暮らしに関する環境評価】

これまでの行政によるサービスの評価は高いが、地域が中心となって進める分野の評価が低い。

とくに、以前より悪くなったと評価されたのは、「つながり」「防犯」「世代間交流」「ささえあい」である。

また、よくなったと評価されつつも不満の域にあるのは、「見守り」「権利擁護」「障がい者の安心」「相談」である。

「満足」「よくなった」—第1象限

生活便利 外出環境(交通の便) 健康 生活環境 生涯学習 福祉保健サービス 情報 総合的な環境 地域活動 活動拠点 防災 高齢者の安心 こども

「満足」「悪くなった」—第2象限

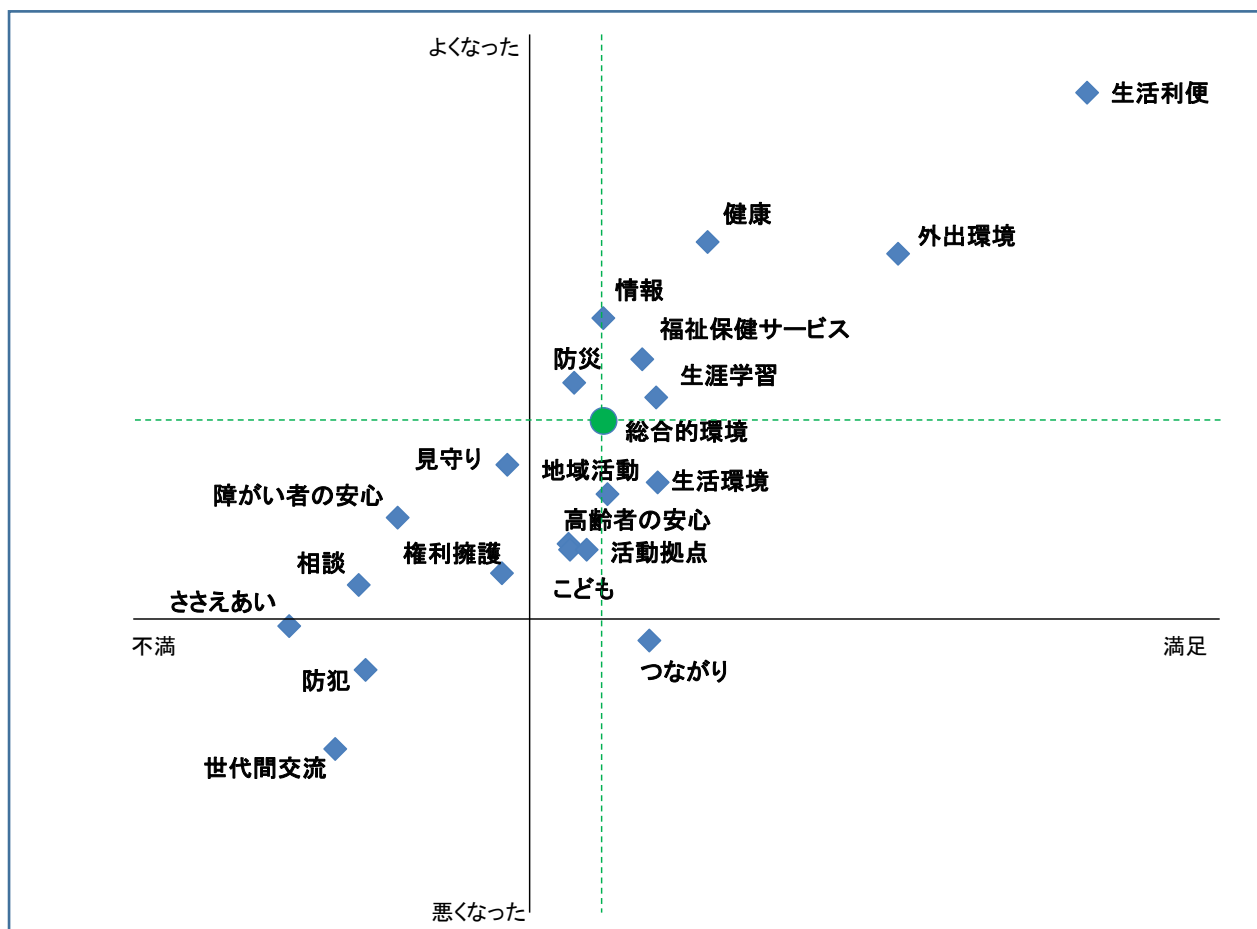
つながり

「不満」「悪くなった」—第3象限

防犯 世代間交流 ささえあい

「不満」「よくなった」—第4象限

見守り 権利擁護 障がい者の安心 相談



【定住意向】

住み続けたいとする人は55.6%と低い、「わからない」とする人が26.9%いる。

【地域での助け合い】

＜近所つきあい＞

近所つきあいの考え方では、「世間話をする程度のつきあい」「何か困ったことがあれば家庭や個人のことで相談できるつきあい」「会えばあいさつを交わす程度」の順であるが、現在のつきあいの状況では「会えばあいさつを交わす程度」「世間話をする程度のつきあい」「何か困ったことがあれば家庭や個人のことで相談できるつきあい」の順となっており、現実が考え方についていっていないことを示唆している。

「日頃からなんでも協力し合えるつきあい」は、考え方としても16.1%、現在のつきあいでは6.9%と少なく、つきあい方に一定の距離を置いておきたい意向が反映されているものと考えられる。

＜困ったときの近所の人との関係＞

「助けて欲しいが難しいと思う」が44.2%と半数近くを占め、「世間話をする程度のつきあい」(38.4%)とする「近所つきあい」の考え方が根底にあると推察される。

＜「地域で助けあう福祉」の推進＞

「個人では難しいので、地域の団体などが中心になって取り組むべきである」が45.8%と、「市民一人ひとりが、協力できることをすべきである」32.8%を上回っている。「福祉は行政の仕事なので、行政がやるべきである」「特に助けあう必要はない」とする人は10%、1%と少ない。

【日常生活での地域の人との関係】

将来助けてもらうことになりそうも含めると、地域からの支援の必要性の上位3項目は、「安否確認や見守り」「話し相手や相談相手」「外出や通院の介助または送迎」といずれも高齢者への支援の項目であり、「子育ての仲間づくり」「一時的な子どもの預かり」「子育て家庭の家事支援」などこどもに関わる支援の項目は少ない。

【地域の助け合いの必要性】

“現在行っている”、“できそうである”「地域の助け合い」の上位2項目は「町内の清掃活動」「災害時の手助け」であり、7割を超えている。次いで3位から7位までは、「安否確認や見守り」「話し相手や相談相手」「祭りなど地域の行事の手伝い」「防犯パトロールなどの見守り」「ちょっとした買い物やごみ出し、草刈りなど」で5割を超えている。子どもに関する項目はいずれも3割未満であった。

【災害時の避難】

＜災害時の避難で気になるところ＞

「災害時の避難で気になるところ」では「気になるところはない」が4割弱でもっとも多い。「近所に自分では安全に避難できないと思う人がいる」「避難場所やそこまでの経路がわからない」はそれぞれ約1/4であり、「本人、もしくは家族の介護や生活支援が必要なので、避難所で生活できるかどうか心配である」とする人は2割未満であった。

＜支援が必要な人の情報の地域での共有＞

「支援が必要な人の情報の地域での共有」では、「情報が適切に管理されプライバシーが守られるのならば、個人の情報を提供しても良いと思う」が7割を占め、「どのような場合であっても、個人の情報は提供したくないと思う」は1割未満であった。

【地域での活動】

＜地域の活動の認知度＞

“聞いたことがある”を含めて認知されている上位3項目は、「自治会」「民生委員・児童委員」「大和市社会福祉協議会」である。ほとんどの活動が半数以上から認知されているのに対し、「地域包括支援センター」は49.1%と最も認知度が低かった。

＜地域活動やボランティア活動への参加＞

現在参加している活動では、「町内会・自治会に関する活動」がもっとも多く4割を占めている、次いで「お祭りやイベントに関する活動」「環境美化に関する活動」「スポーツに関する活動」が続き、2割を超えている。子育て、健康づくり、高齢者、障がい児・者、医療の各活動に関する参加割合はいずれも1割未満である。

＜今後の参加意向＞

今後の参加意向では「具体的にわからない」「特に参加したいと思わない」がそれぞれ2割を占めている。現在の参加状況に対して今後の参加意向が高く現れた(5ポイント以上)のは、健康づくり、高齢者、医療、文化・芸術に関する活動であった。

＜活動に参加しやすくなる条件＞

活動に参加しやすくなる条件の上位3項目は、「活動に関するさまざまな情報提供」「活動ができる身近な場(施設)」「気軽に相談できる窓口」である。

＜気軽に立ち寄れる、集える場所＞

「気軽に立ち寄れる、集える場所」は「ある」とする人が3割弱、「ない」とする人が4割弱で、「わからない」とする人が3割あった。

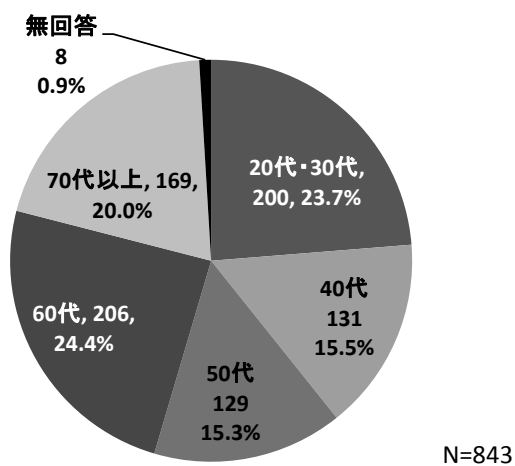
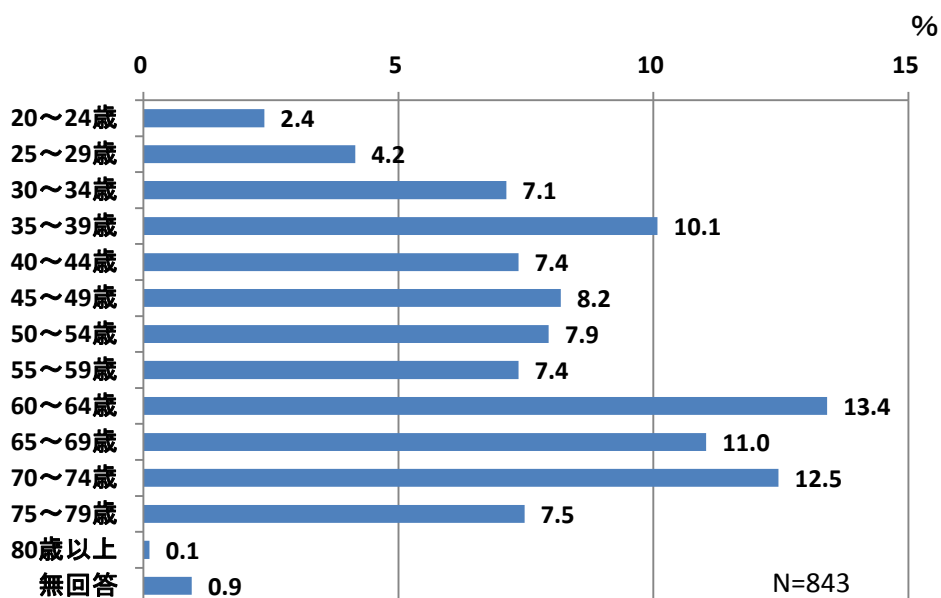
「気軽に立ち寄れる、集える場所」の具体的な場所の上位3項目は、「コミュニティセンター」「自治会館」「生涯学習センター」であり、学校や各種福祉施設は1割未満であった。

1 調査概要

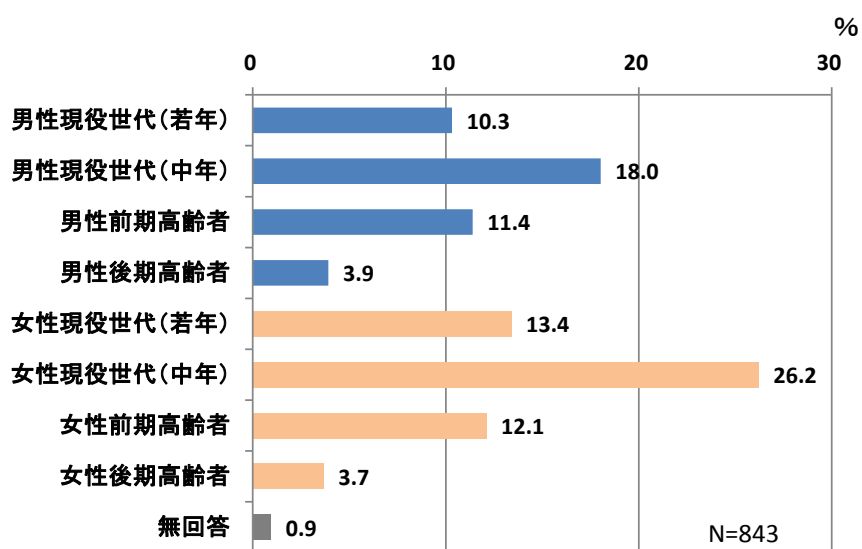
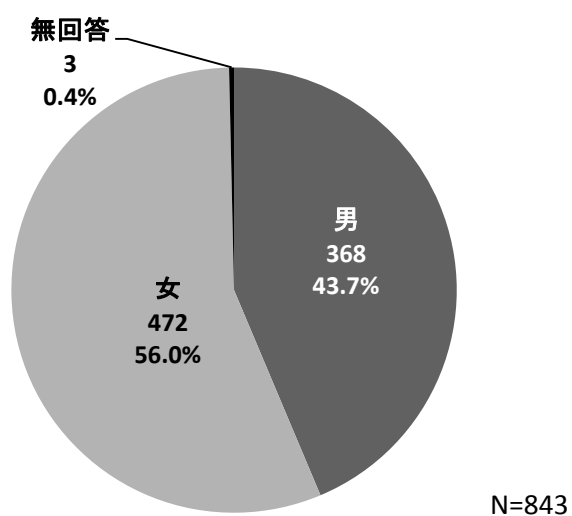
調査方法 郵送で発送、郵送で回収
配布総数 2,500 人(20 歳以上)
--住民基本台帳から無作為抽出--
有効回収数 843 人
回 収 率 34.0%
実施時期 平成 25 年 6 月～7 月

2 回答者の属性

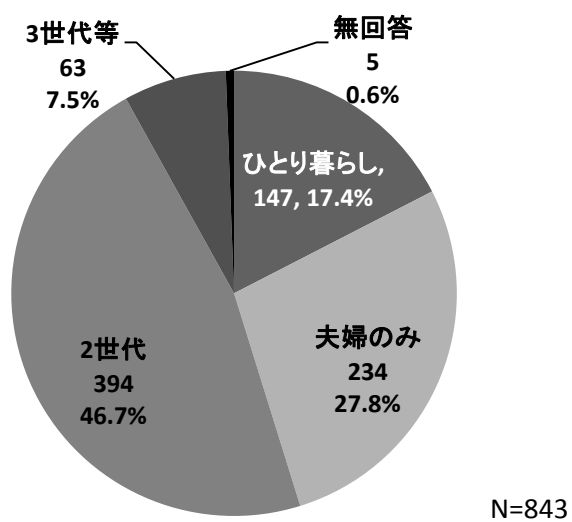
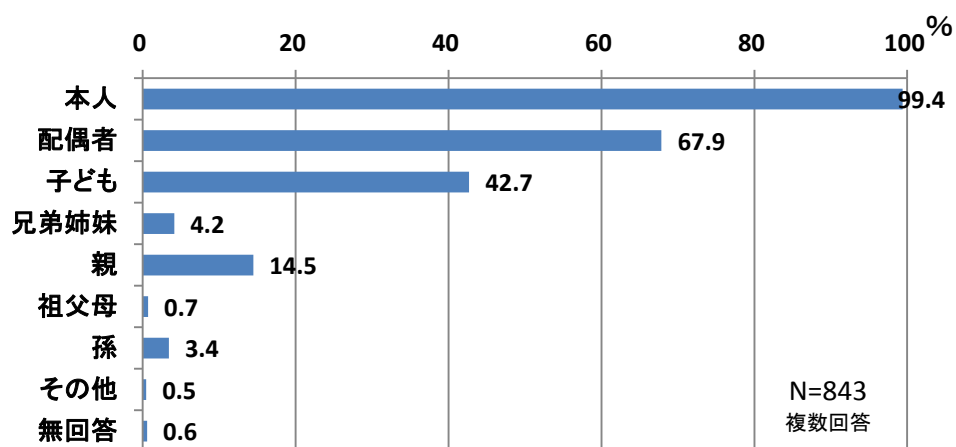
(1) 年齢



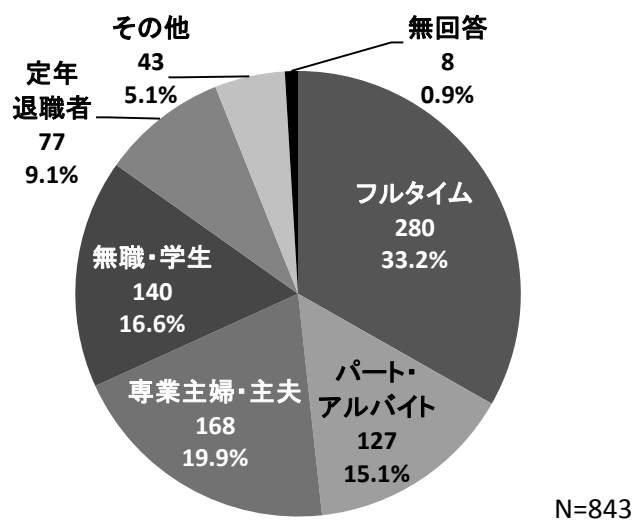
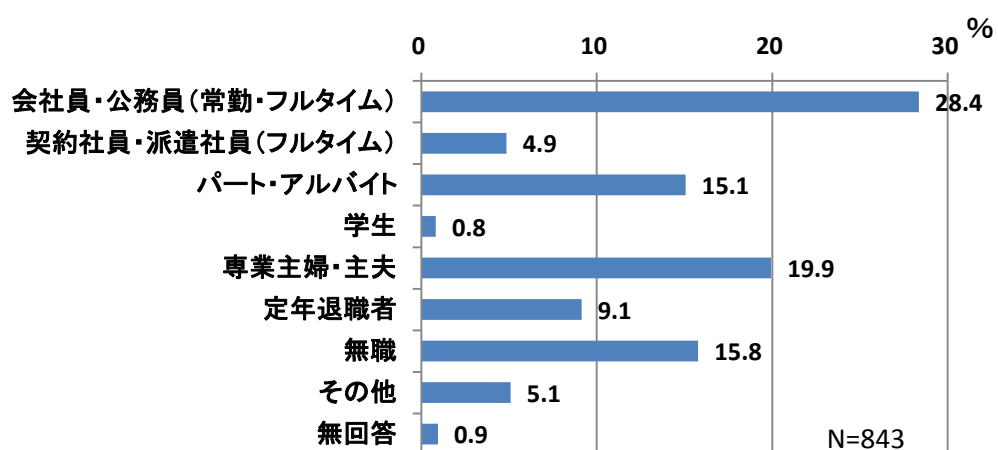
(2) 性別



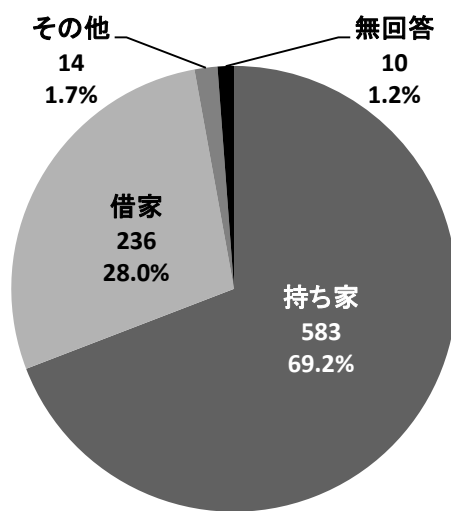
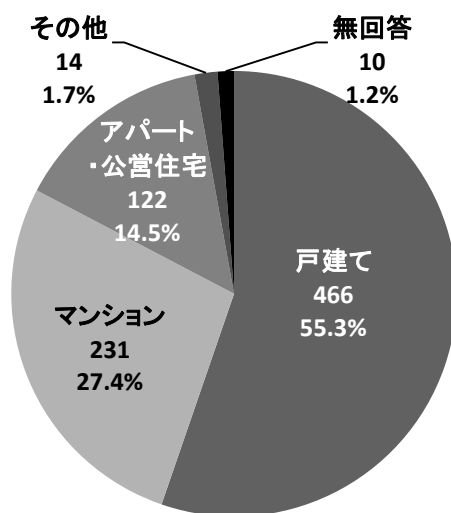
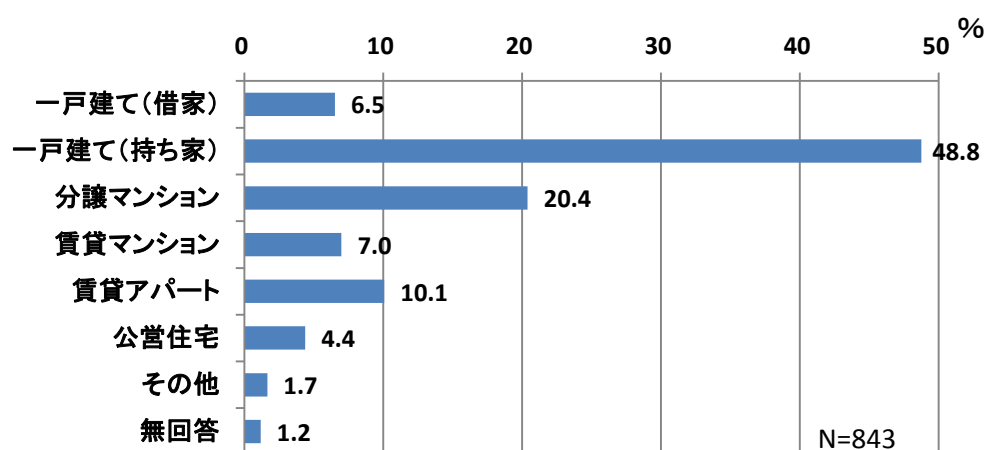
(3) 家族構成



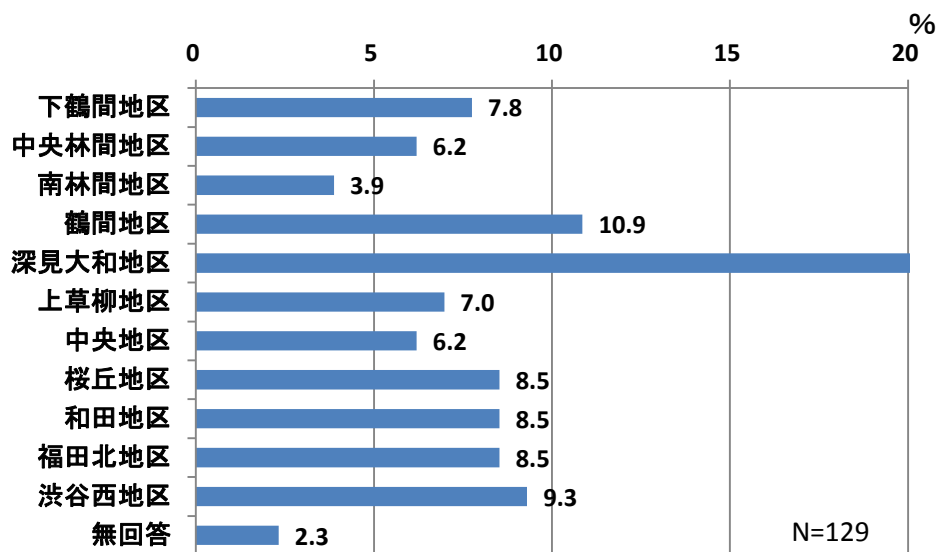
(4) 職業



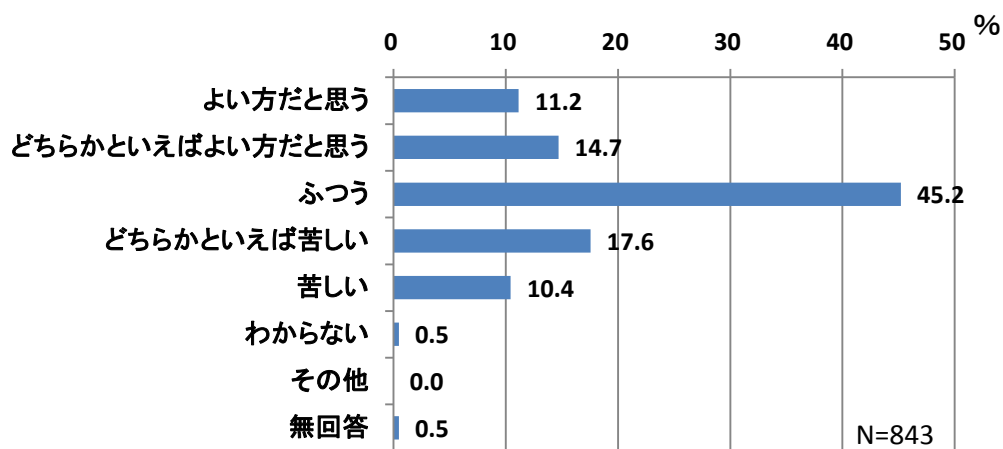
(5) 住居形態



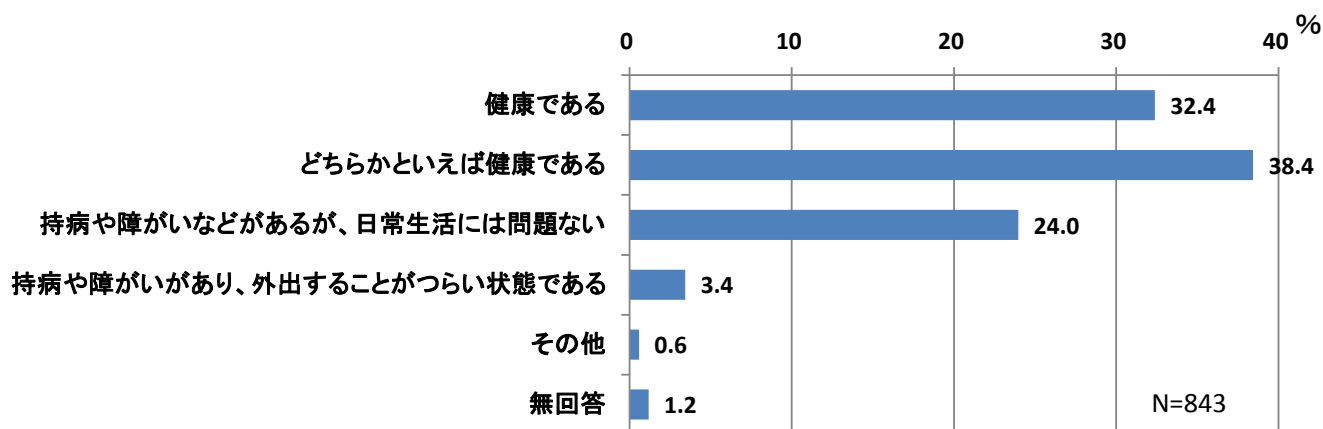
(6) 居住地



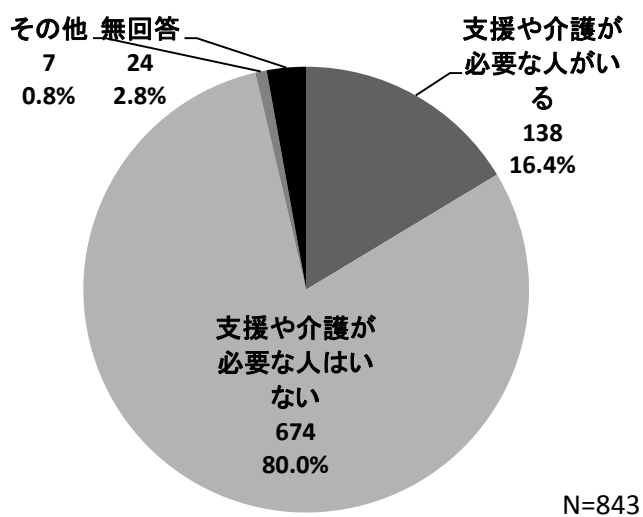
(7) 世帯の経済的な状況



(8) 現在の健康状態



(9) 家族内の要支援や要介護者の存在

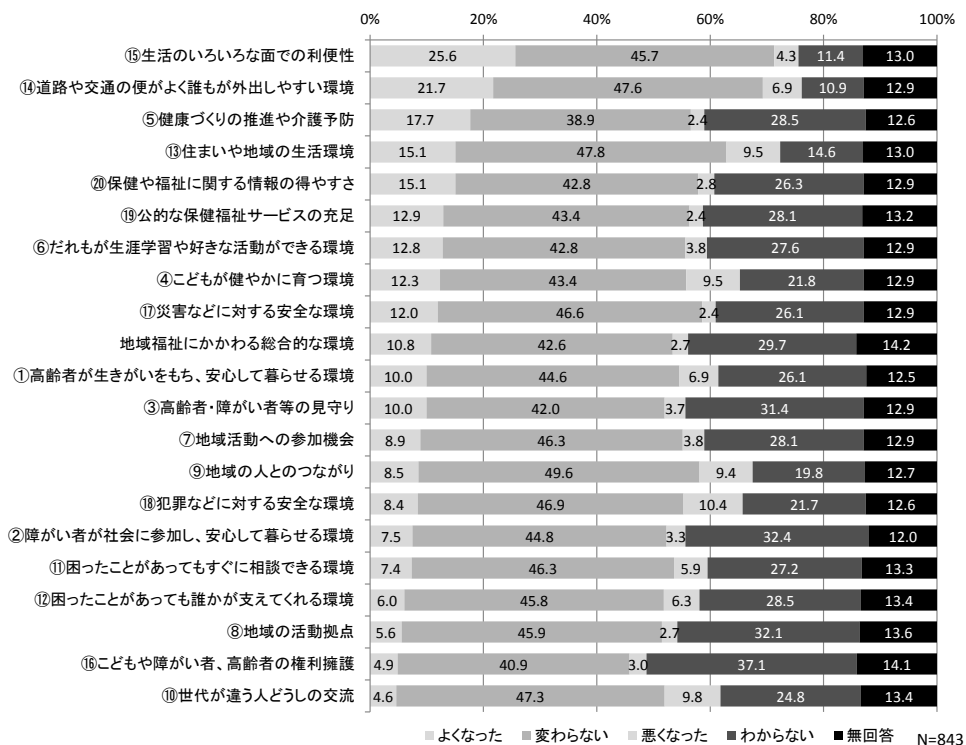
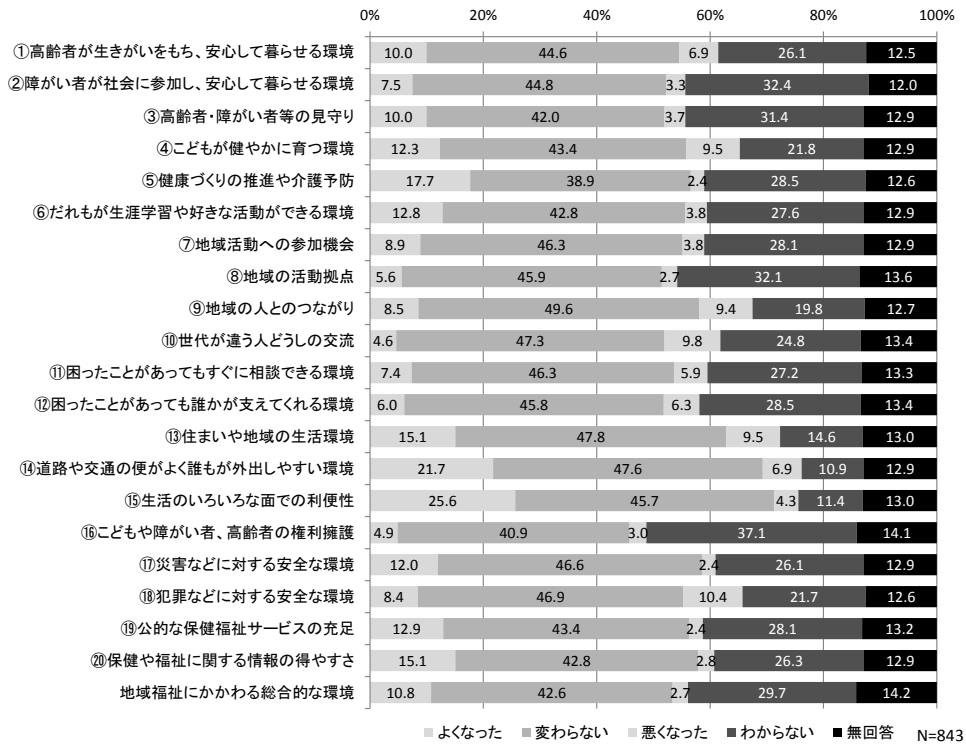


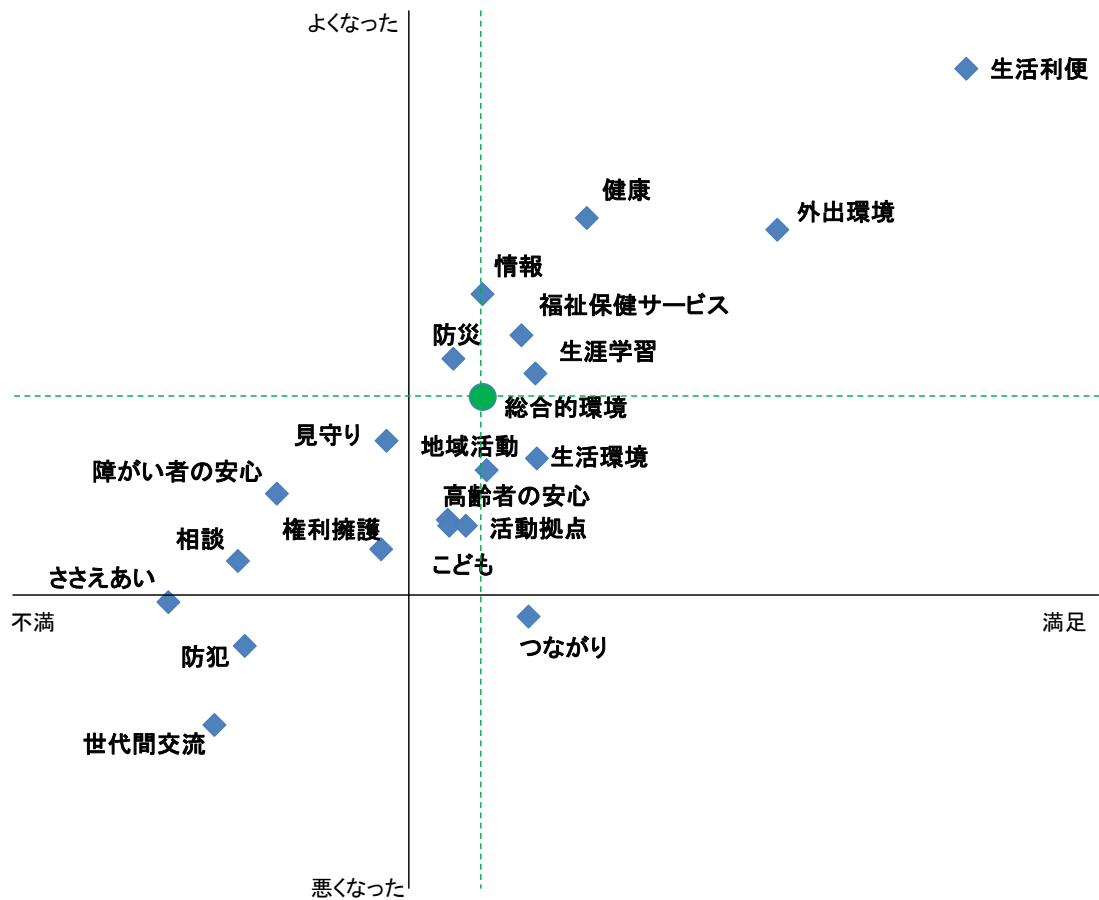
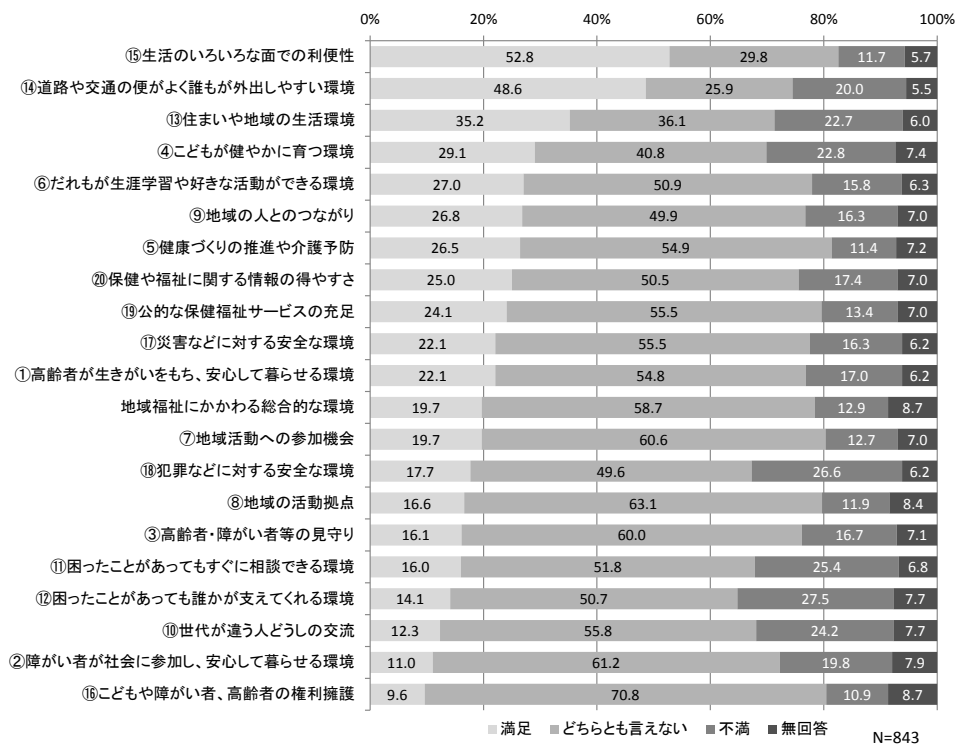
3 地域での暮らしに関する環境

これまでの行政によるサービスの評価は高いが、地域が中心となって進める分野の評価が低い。

とくに、以前より悪くなったと評価されたのは、「つながり」「防犯」「世代間交流」「ささえあい」である。

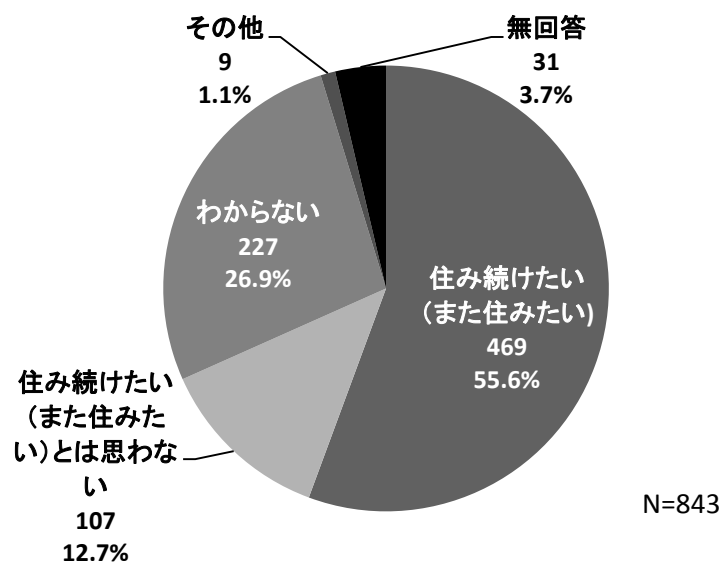
また、よくなったと評価されつつも不満の域にあるのは、「見守り」「権利擁護」「障がい者の安心」「相談」である。





4 定住意向

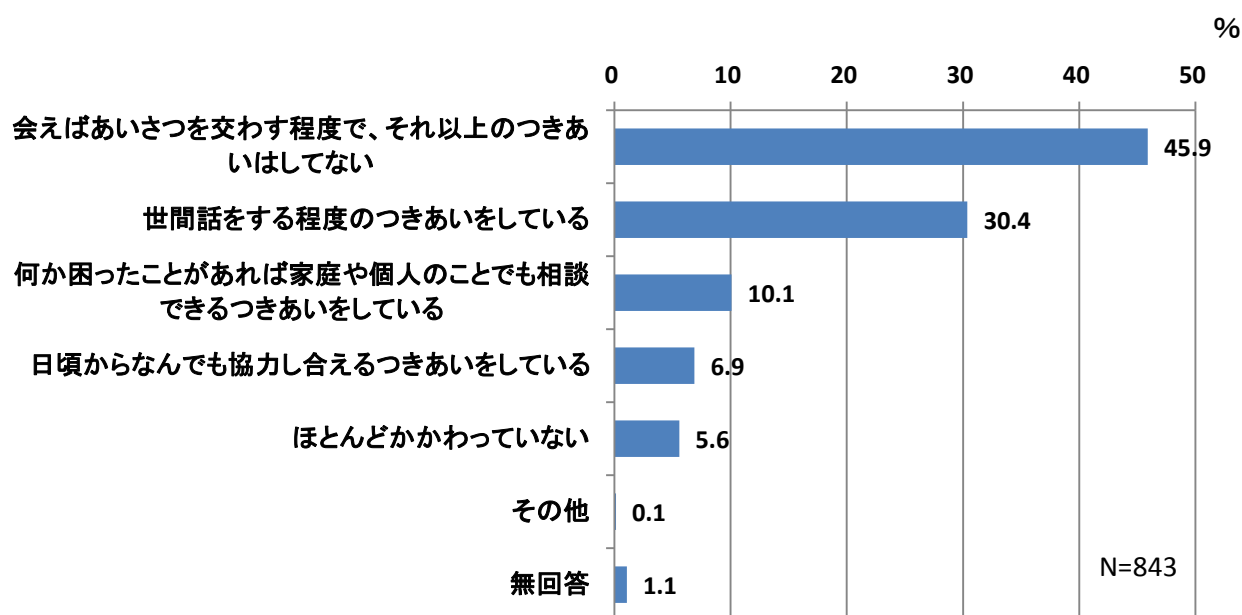
住み続けたいとする人は55.6%と低いが、「わからない」とする人が26.9%いる。



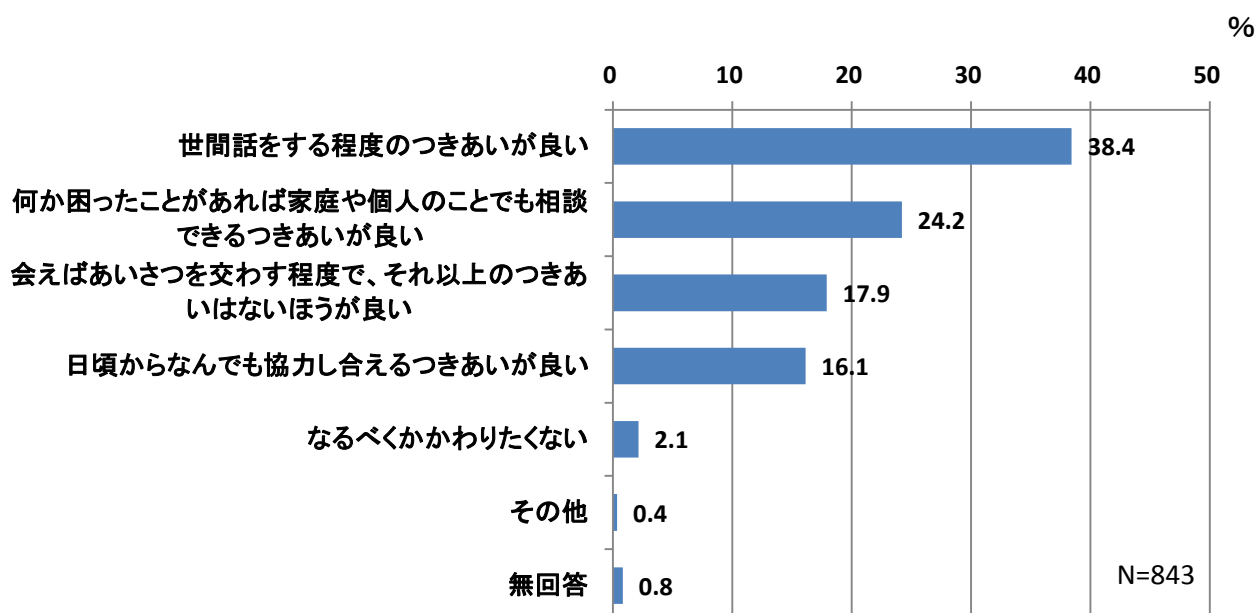
5 地域での助けあい

近所つきあいの考え方では、「世間話をする程度のつきあい」「何か困ったことがあれば家庭や個人のことでも相談できるつきあい」「会えばあいさつを交わす程度」の順であるが、現在のつきあいの状況では「会えばあいさつを交わす程度」「世間話をする程度のつきあい」「何か困ったことがあれば家庭や個人のことでも相談できるつきあい」の順となっており、現実が考え方についていっていないことを示唆している。

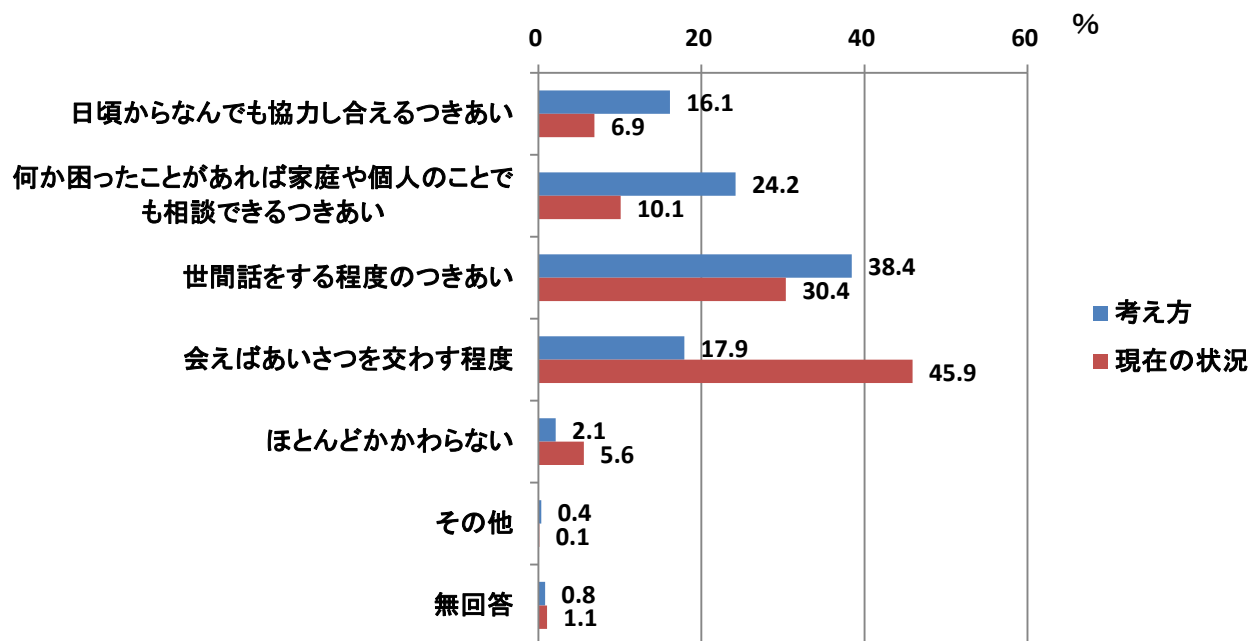
(1) 近所の人とつきあい方



(2) 近所づきあいの考え方

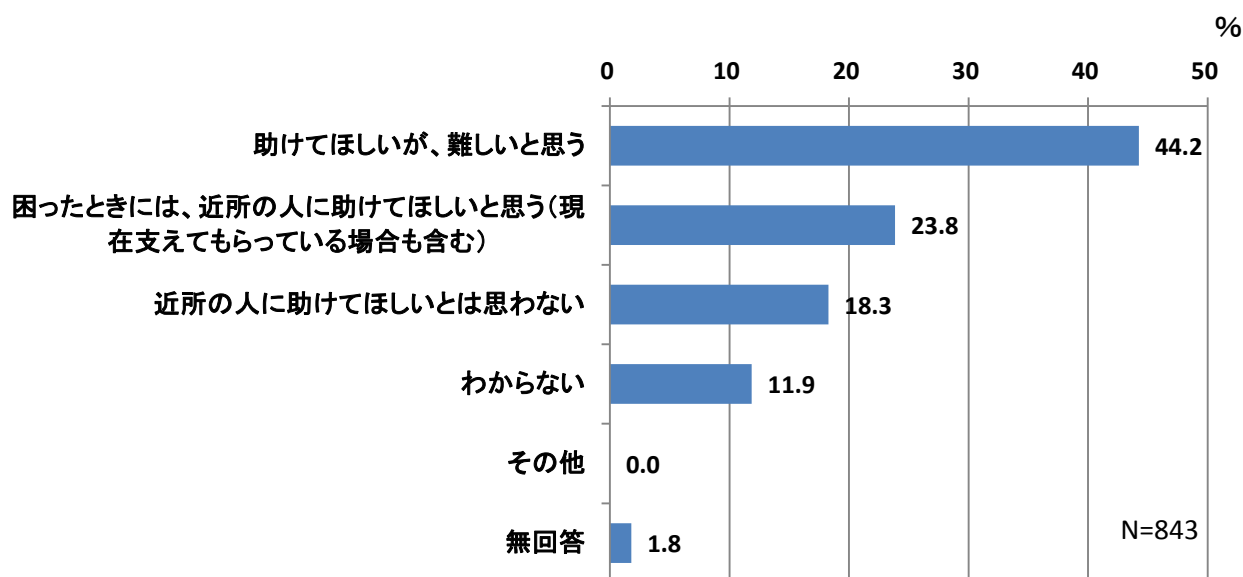


「日頃からなんでも協力し合えるつきあい」は。考え方としても16.1%、現在のつきあいでは6.9%と少なく、つきあい方に一定の距離を置いておきたい意向が反映されているものと考えられる。



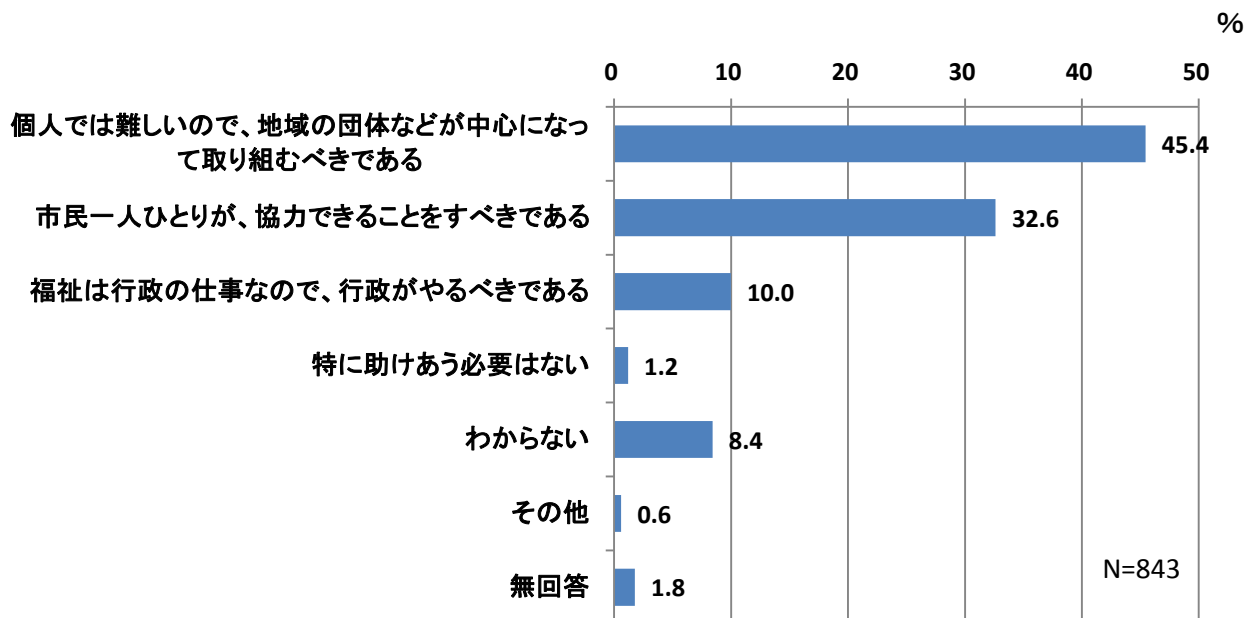
(3) 困ったときの近所の人との関係

「助けて欲しいが難しいと思う」が44.2%と半数近くを占め、「世間話をする程度のつきあい」(38.4%)とする「近所つきあい」の考え方が根底にあると推察される。



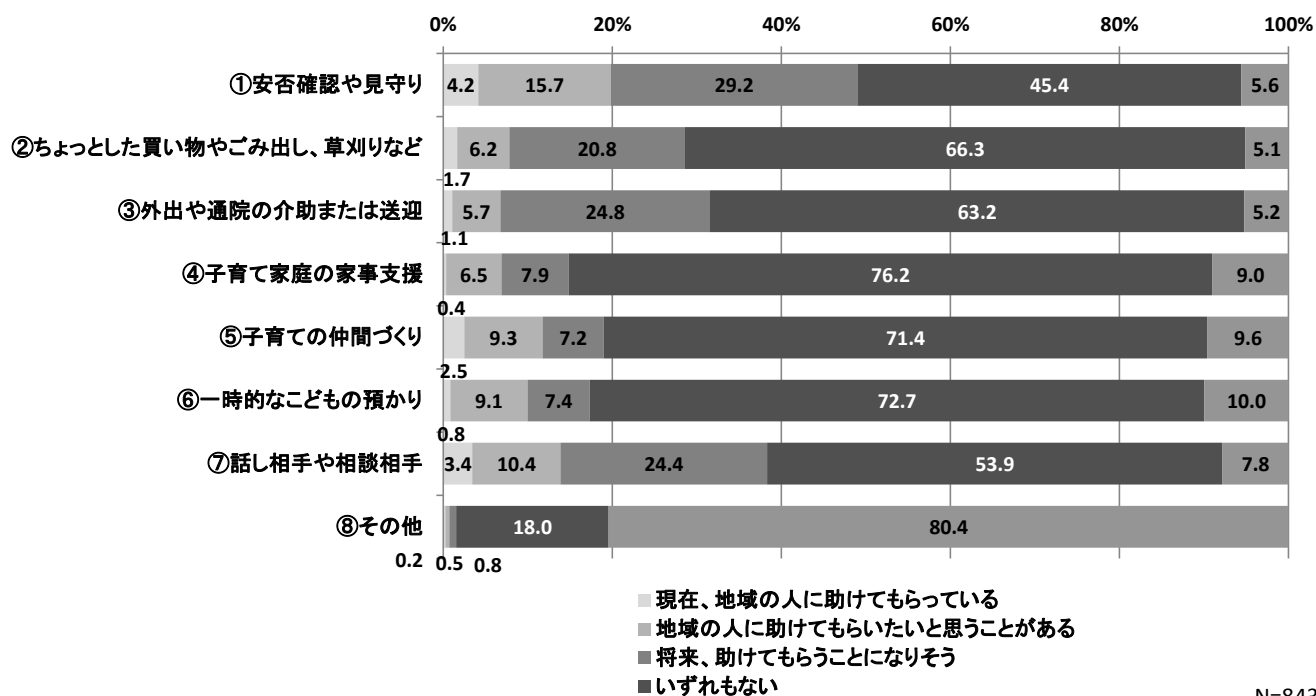
(4) 「地域で助けあう福祉」の推進

「個人では難しいので、地域の団体などが中心になって取り組むべきである」が45.8%と、「市民一人ひとりが、協力できることをすべきである」32.8%を上回っている。「福祉は行政の仕事なので、行政がやるべきである」「特に助けあう必要はない」とする人は10%、1%と少ない。



(5) 日常生活での地域の人との関係

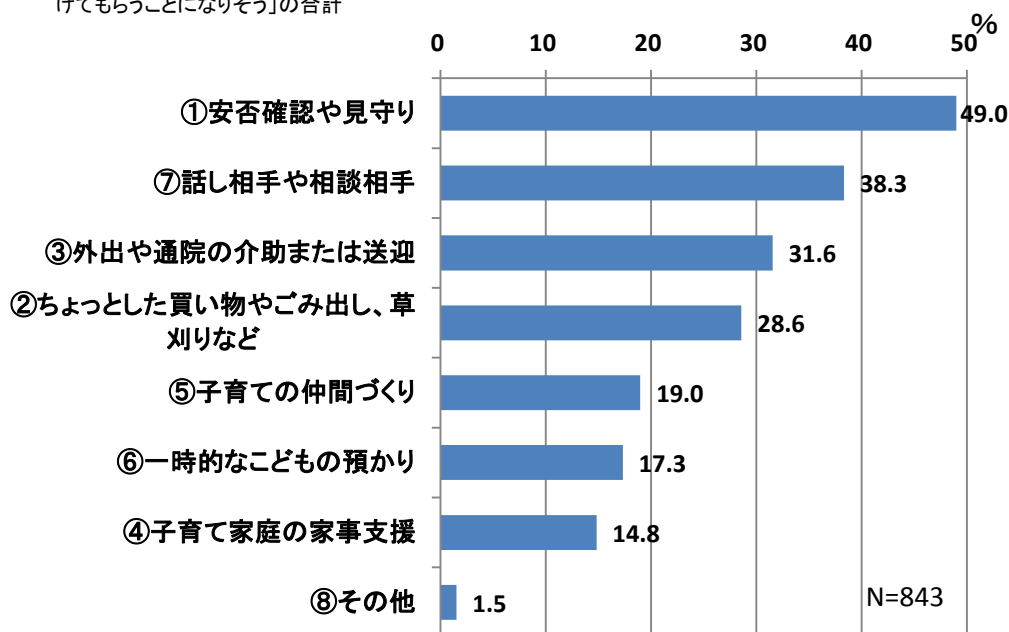
将来助けてもらうことになりそうも含めると、地域からの支援の必要性の上位3項目は、「安否確認や見守り」「話し相手や相談相手」「外出や通院の介助または送迎」といずれも高齢者への支援の項目であり、「子育ての仲間づくり」「一時的な子どもの預かり」「子育て家庭の家事支援」などこどもに関わる支援の項目は少ない。



N=843

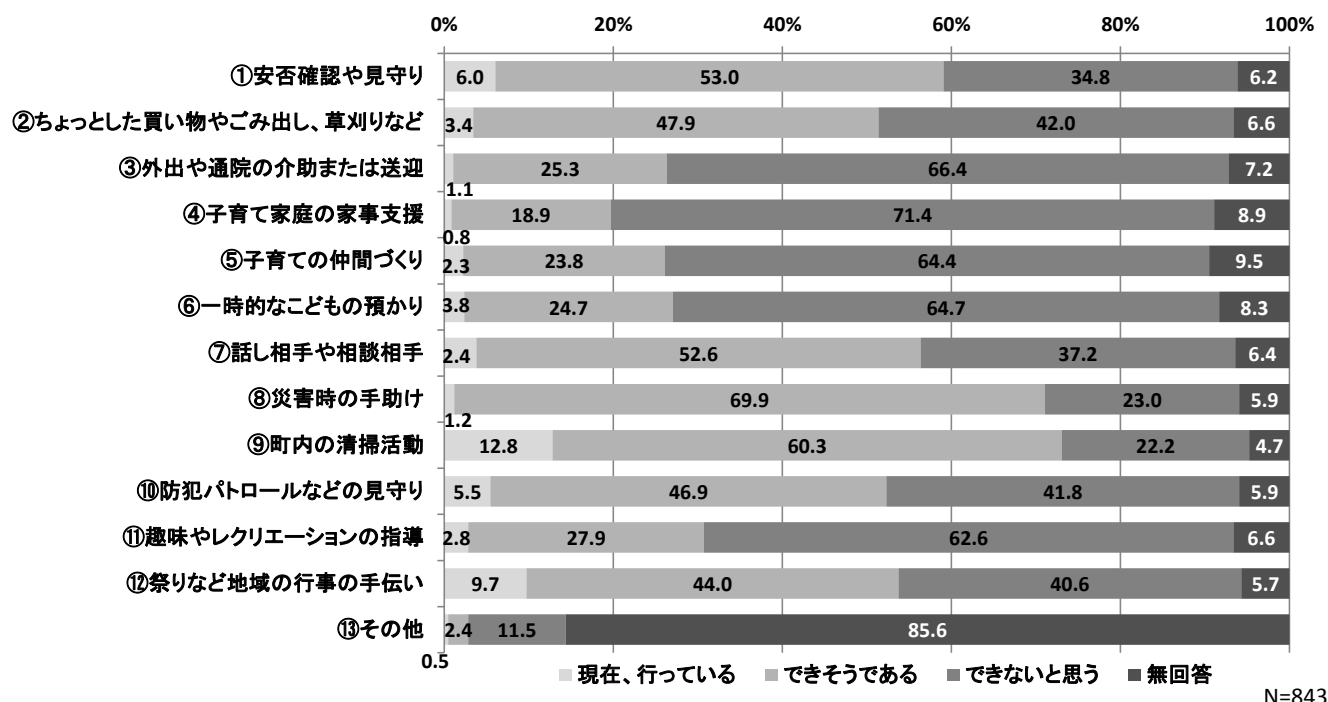
地域からの支援の必要性

「現在、地域の人に助けてもらっている」「地域の人に助けてもらいたいと思うことがある」「将来、助けてもらうことになりそう」の合計



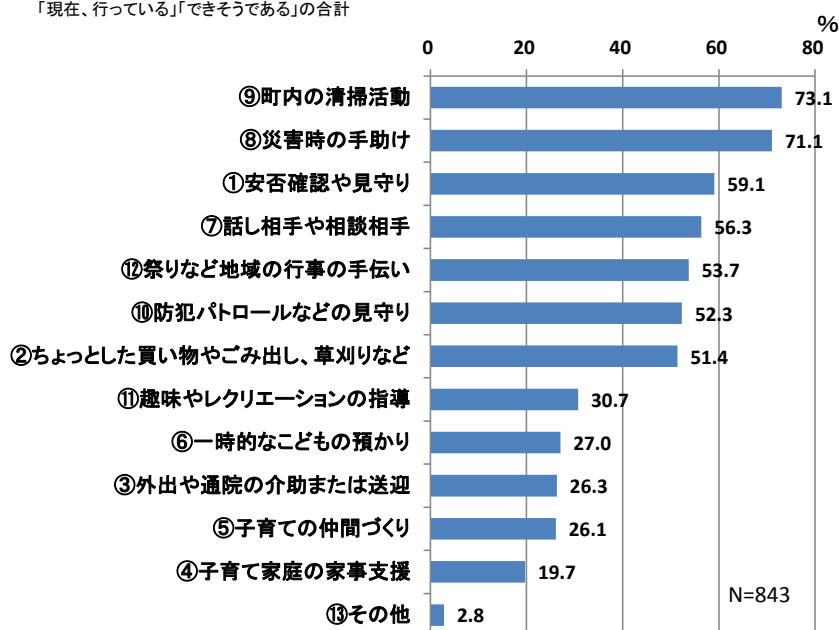
（６）地域の助け合い

“現在行っている”、“できそうである”「地域の助け合い」の上位２項目は「町内の清掃活動」「災害時の手助け」であり、７割を超えている。次いで３位から７位までは、「安否確認や見守り」「話し相手や相談相手」「祭りなど地域の行事の手伝い」「防犯パトロールなどの見守り」「ちょっとした買い物やごみ出し、草刈りなど」で５割を超えている。子どもに関する項目はいずれも３割未満であった。



地域の助け合いの必要性

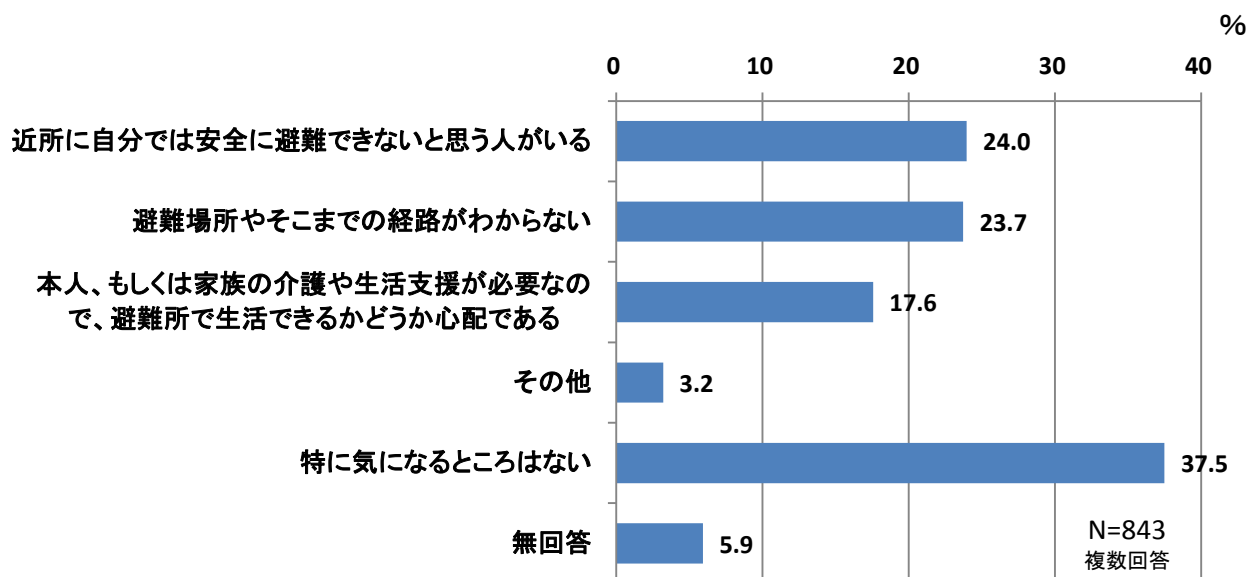
「現在、行っている」「できそうである」の合計



6 災害時の避難

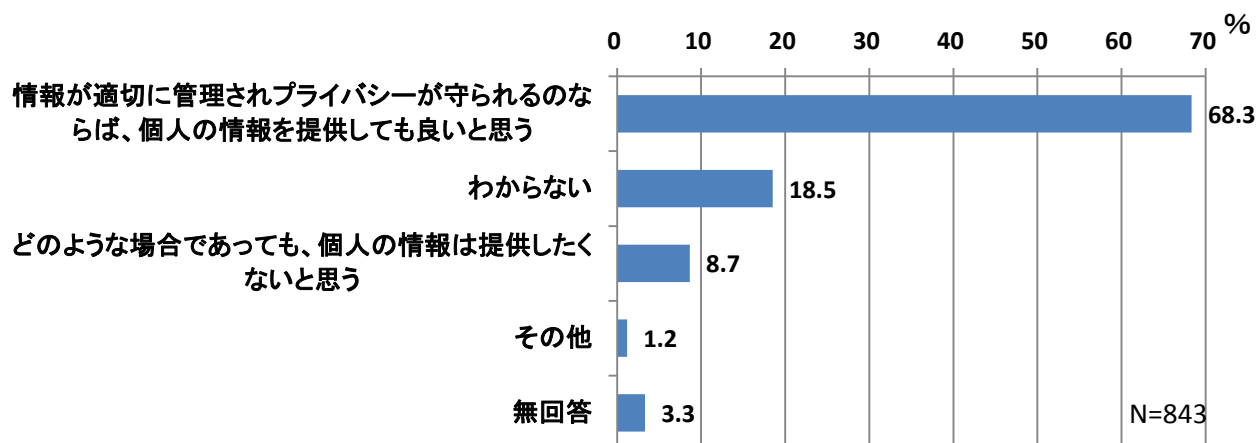
(1) 災害時の避難で気になること

「災害時の避難で気になること」では「気になることはない」が 4 割弱でもっとも多い。「近所に自分では安全に避難できないと思う人がある」「避難場所やそこまでの経路がわからない」はそれぞれ約 1/4 であり、「本人、もしくは家族の介護や生活支援が必要なので、避難所で生活できるかどうか心配である」とする人は 2 割未満であった。



(2) 支援が必要な人の情報の地域での共有

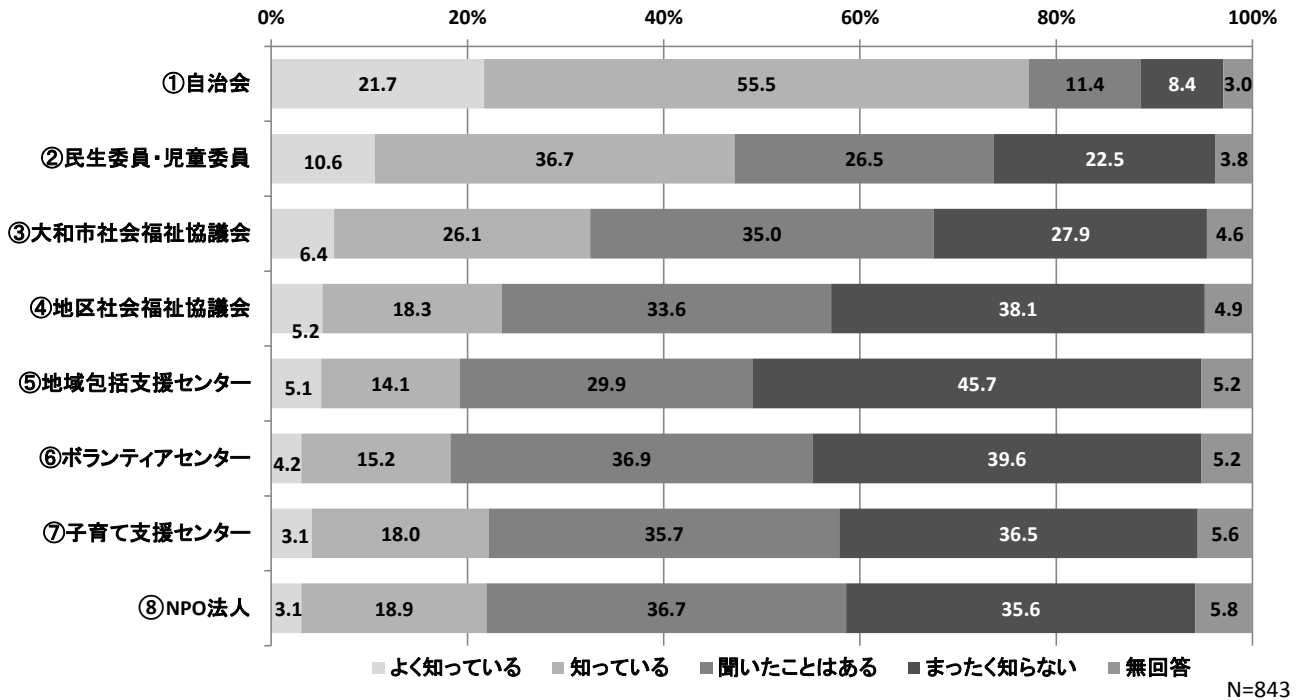
「支援が必要な人の情報の地域での共有」では、「情報が適切に管理されプライバシーが守られるのならば、個人の情報を提供しても良いと思う」が 7 割を占め、「どのような場合であっても、個人の情報は提供したくないと思う」は 1 割未満であった。



7 地域での活動

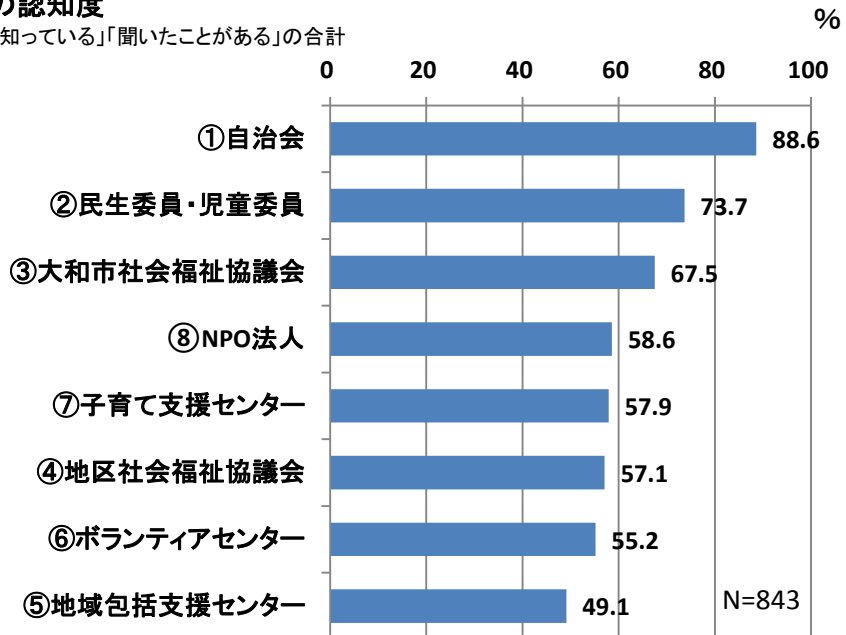
(1) 地域で活動している人々の認知度

“聞いたことがある”を含めて認知されている上位3項目は、「自治会」「民生委員・児童委員」「大和市社会福祉協議会」である。ほとんどの活動が半数以上から認知されているのに対し、「地域包括支援センター」は49.1%と最も認知度が低かった。



地域の活動の認知度

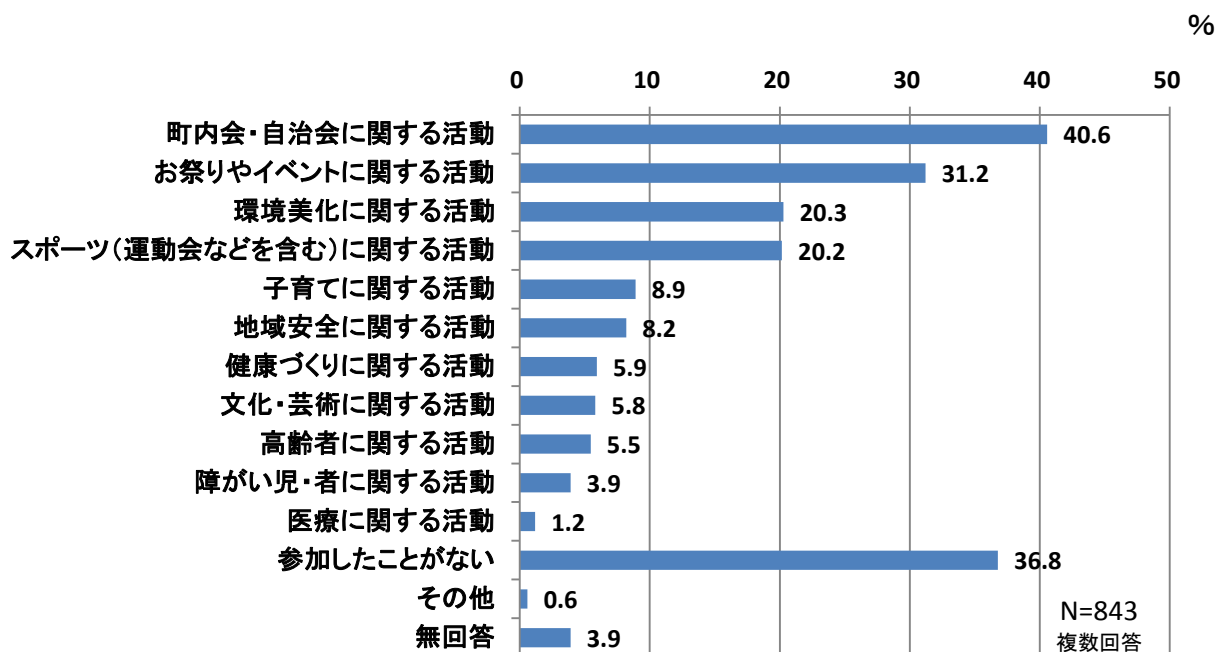
「よく知っている」「知っている」「聞いたことがある」の合計



（２）地域活動やボランティア活動への参加

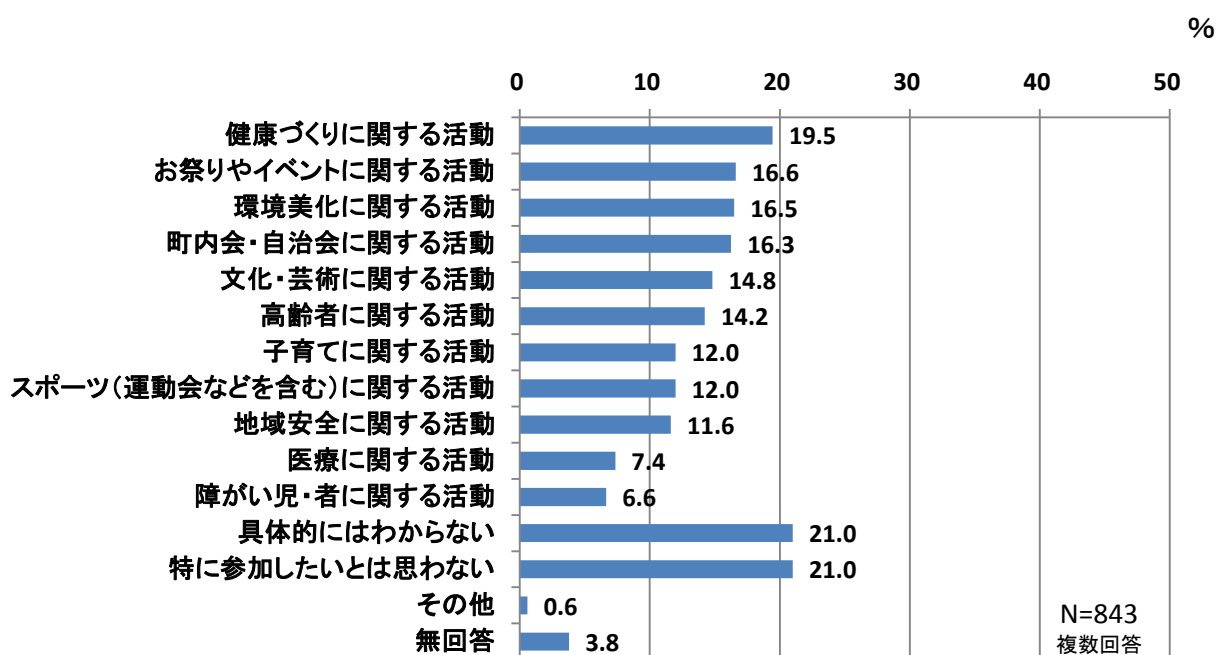
① 現在の参加状況

現在参加している活動では、「町内会・自治会に関する活動」がもっとも多く４割を占めている、次いで「お祭りやイベントに関する活動」「環境美化に関する活動」「スポーツに関する活動」が続ぎ、２割を超えている。子育て、健康づくり、高齢者、障がい児・者、医療の各活動に関する参加割合はいずれも１割未満である。

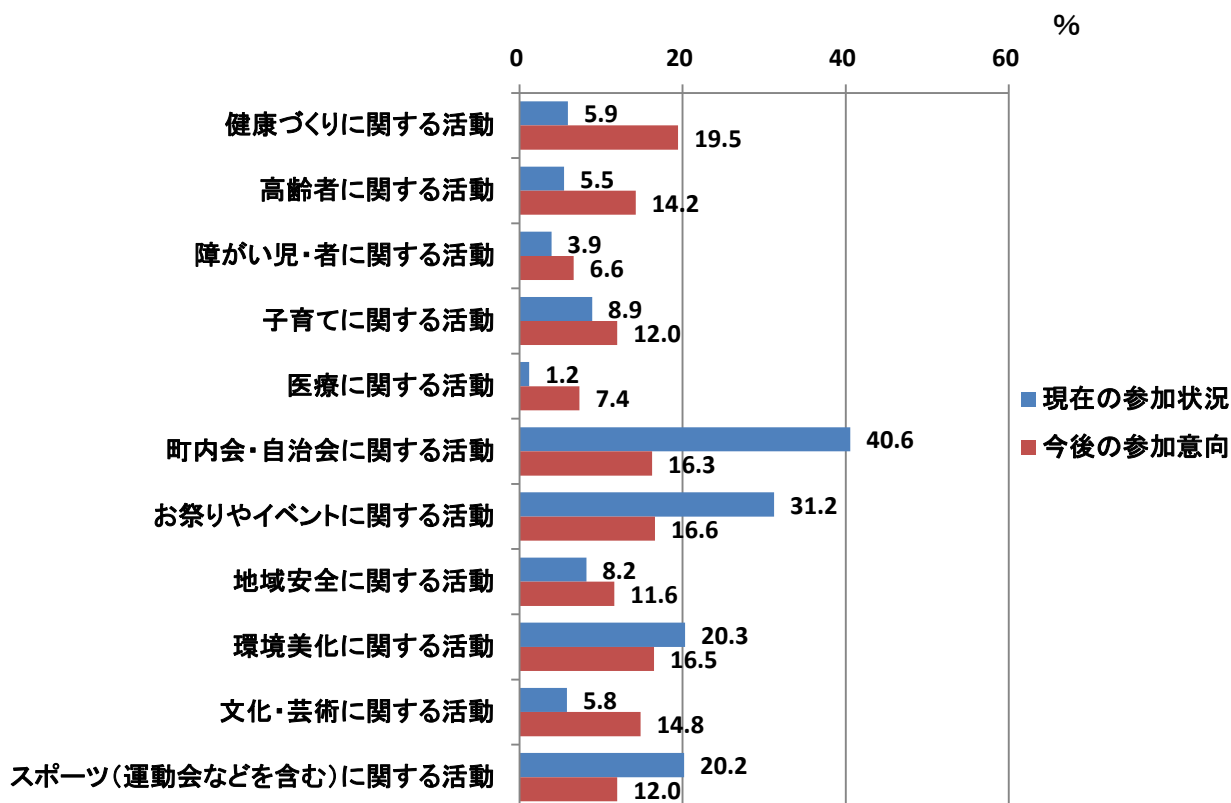


② 今後の参加意向

今後の参加意向では「具体的にわからない」「特に参加したいと思わない」がそれぞれ２割を占めている。

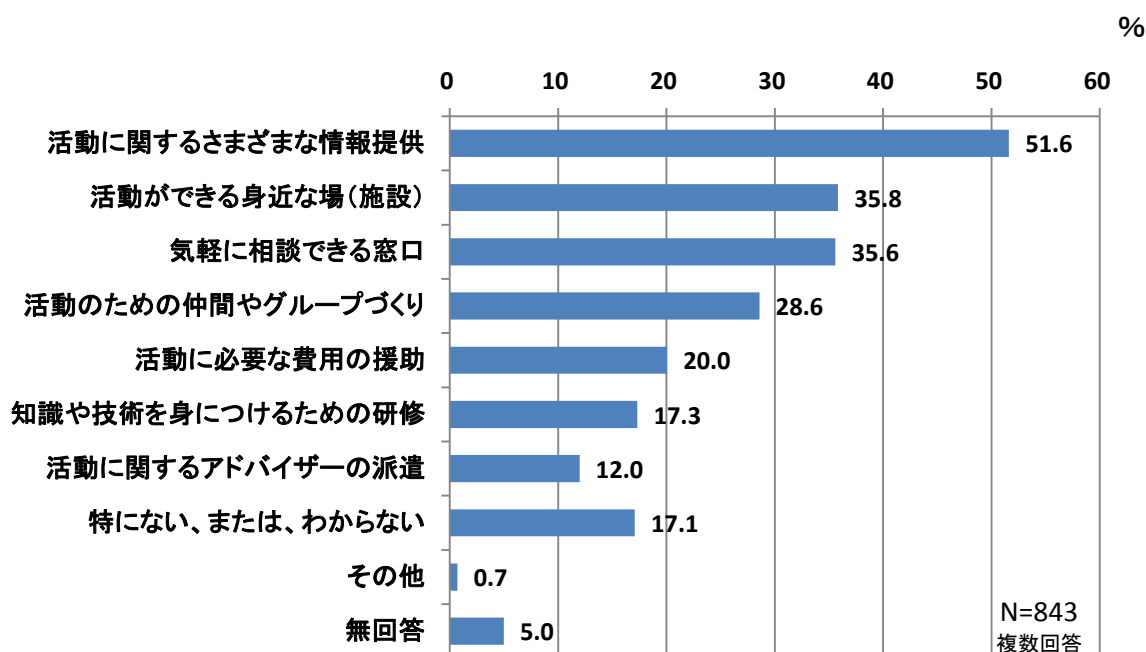


現在の参加状況に対して今後の参加意向が高く現れた(5ポイント以上)のは、健康づくり、高齢者、医療、文化・芸術に関する活動であった。



(3) 活動に参加しやすくなる条件

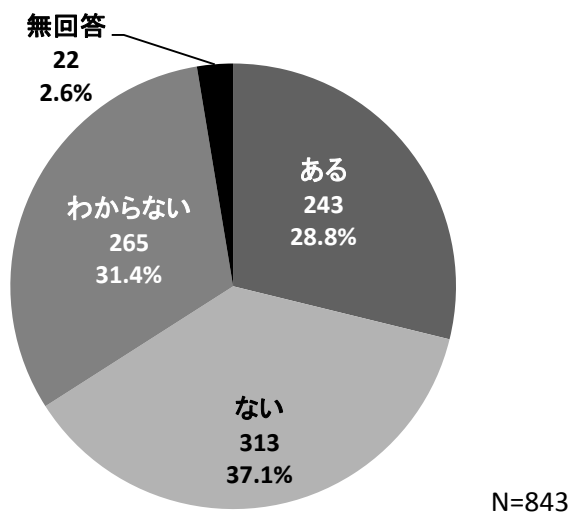
活動に参加しやすくなる条件の上位3項目は、「活動に関するさまざまな情報提供」「活動ができる身近な場(施設)」「気軽に相談できる窓口」である。



(4) 気軽に立ち寄れる、集える場所

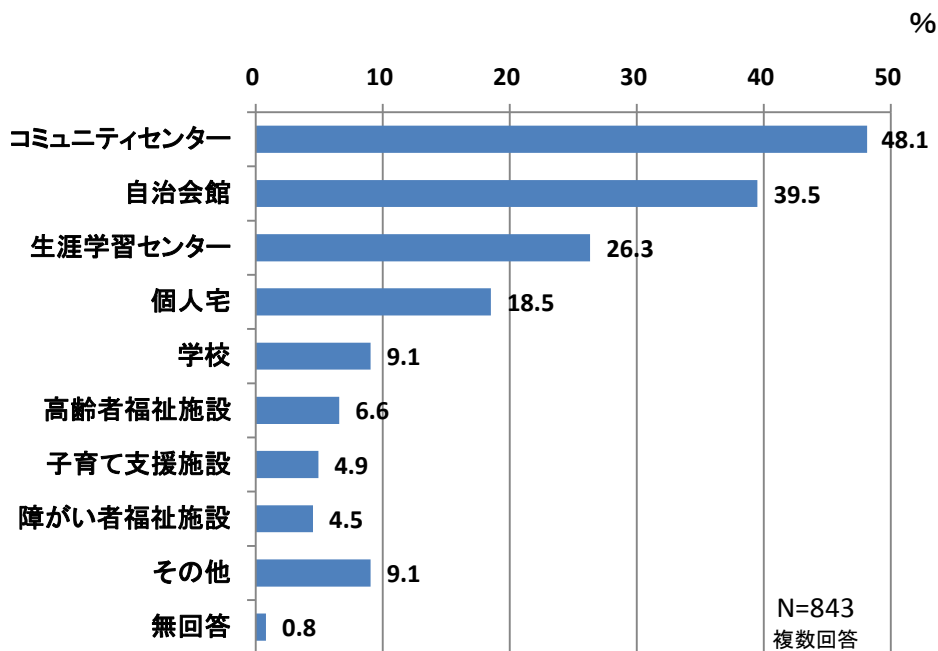
①気軽に立ち寄れる、集える場所の有無

「気軽に立ち寄れる、集える場所」は「ある」とする人が3割弱、「ない」とする人が4割弱で、「わからない」とする人が3割あった。



②気軽に立ち寄れる、集える場所

「気軽に立ち寄れる、集える場所」の具体的な場所の上位3項目は、「コミュニティセンター」「自治会館」「生涯学習センター」であり、学校や各種福祉施設は1割未満であった。



地域福祉に関する市民アンケート 【調査ご協力のお願い】

市民の皆様におかれましては、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、大和市では、社会環境の変化に伴い多様・複雑化している福祉ニーズに対応するため、「大和市地域福祉計画」を策定しております。この度は、平成26年度を初年度とする第4期地域福祉計画の改定にあたり、市民の皆様の身近な生活課題や地域での支え合いに関する考えを把握した上で検討を進めてまいりたいと考えており、アンケートを皆様をお願いすることとなりました。

また、墓地に関するご意向についても、併せてご回答いただければと存じます。

この調査は、大和市にお住まいの皆様の中から、20歳以上の男女2,500人の方を無作為に抽出し、郵送にてお願いしております。本調査票は無記名でご提出いただくもので、個人が特定されることはございませんので安心してご回答ください。また、いただいた回答は本調査の目的にのみ活用させていただきます。

なお、調査の集計結果につきましては、今後、「大和市ホームページ」等で公表させていただきます。お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年6月

大和市長 大木 哲

<ご記入にあたって>

- ① 封筒に記載されているあて名のご本人様にご回答ください。回答の記載については、ご本人様の意思を代理の方がご記入いただいても差し支えありません。
- ② 設問ごとに「いずれかひとつに」や「当てはまるものすべてに」等回答方法を設定させていただいておりますので、その設定に沿った回答をお願いいたします。
- ③ 選択肢「その他」を選択した場合は、() 内へその内容を記述してください。
- ④ 回答が困難な場合は無記入のまま次の設問に進んでいただいて構いません。

※ ご記入いただきました調査票は、お名前やご住所を書かずに、同封の返信用封筒に入れて（切手は不要です）、**7月3日（水）まで**にご投函ください。

※ この調査に関するご質問などは、下記までお問合せください。

●地域福祉計画について

健康福祉部健康福祉総務課 地域福祉担当 稲毛・玉田

電話: 046-260-5604 / FAX: 046-262-0999

●墓地・納骨堂について

健康福祉部健康づくり推進課 医療予防担当 山崎・守屋

電話: 046-260-5661 / FAX: 046-264-0142

あなたご自身についておたずねします

1. あなたの年齢は（平成25年6月1日現在）

（ ）歳

2. あなたの性別は（どちらかに○）

1 男 2 女

3. あなたの世帯の構成員は（当てはまるものすべてに○）

1 本人 2 配偶者 3 子ども 4 兄弟姉妹
5 親 6 祖父母 7 孫 8 その他（ ）

4. あなたのお仕事は（いずれかひとつに○）

1 会社員・公務員（常勤・フルタイム） 2 契約社員・派遣社員（フルタイム） 3 パート・アルバイト
4 学生 5 専業主婦・主夫 6 定年退職者
8 無職 9 その他（ ）

5. あなたの住んでいる住居の種類は（いずれかひとつに○）

1 一戸建て（借家） 2 一戸建て（持ち家） 3 分譲マンション 4 賃貸マンション
5 賃貸アパート 6 公営住宅 7 その他（ ）

6. あなたはどちらにお住まいですか（いずれかひとつに○）→7ページ地区割地図参照

1 下鶴間地区 2 中央林間地区 3 南林間地区 4 鶴間地区
5 深見大和地区 6 上草柳地区 7 中央地区 8 桜丘地区
9 和田地区 10 福田北地区 11 渋谷西地区 12 わからない

7. あなたの世帯の現在の暮らし向き（経済的な状況）は（いずれかひとつに○）

1 よい方だと思う 2 どちらかといえばよい方だと思う 3 ふつう
4 どちらかといえば苦しい 5 苦しい 6 わからない
7 その他（ ）

8. あなたの現在の健康状態は（いずれかひとつに○）

1 健康である 2 どちらかといえば健康である
3 持病や障がいなどがあるが、日常生活には問題ない
4 持病や障がいがあり、外出することがつらい状態である
5 その他（ ）

9. あなたご自身を含め、ご家族のなかに支援や介護が必要な人はいますか（いずれかひとつに○）

1 支援や介護が必要な人がいる 2 支援や介護が必要な人はいない 3 その他（ ）

10.現在お住まいの地域での暮らしに関する環境についてどのように感じていますか

「現在の状況」と「以前と比べた状況」についてそれぞれお答えください

(①～⑳の項目ごとに「現在の状況」と「以前と比べた状況」のそれぞれひとつずつに○)

注)「以前」とは過去5年程度とお考えください、5年以内に転入された方は転入時と比べてお答えください。	現在の状況					以前と比べた状況			
	とても満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	とても不満	よくなった	変わらない	悪くなった	わからない
記入例 ④こどもが健やかに育つ環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4
①高齢者が生きがいをもち、安心して暮らせる環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4
②障がい者が社会に参加し、安心して暮らせる環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4
③高齢者・障がい者等の見守り	1	2	3	4	5	1	2	3	4
④こどもが健やかに育つ環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑤健康づくりの推進や介護予防	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑥だれもが生涯学習や好きな活動ができる環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑦地域活動への参加機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑧地域の活動拠点	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑨地域の人とのつながり	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑩世代が違う人どうしの交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑪困ったことがあってもすぐに相談できる環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑫困ったことがあっても誰かが支えてくれる環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑬住まいや地域の生活環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑭道路や交通の便がよく誰もが外出しやすい環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑮生活のいろいろな面での利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑯こどもや障がい者、高齢者の権利擁護	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑰災害などに対する安全な環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑱犯罪などに対する安全な環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑲公的な保健福祉サービスの充足	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑳保健や福祉に関する情報の得やすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4
㉑地域福祉にかかわる総合的な環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4

11.あなたはこれからも大和市に住み続けたい（もしくは転居したあとまた住みたい）と思いますか

(いずれかひとつに○)

1 住み続けたい(また住みたい)	2 住み続けたい(また住みたい)とは思わない
3 わからない	4 その他()

お住まいの地域での助けあいについておたずねします

12. あなたは、近所の人とどの程度のつきあいをしていますか（いずれかひとつに○）

- 1 日頃からなんでも協力し合えるつきあいをしている
- 2 何か困ったことがあれば家庭や個人のことで相談できるつきあいをしている
- 3 世間話をする程度のつきあいをしている
- 4 会えばあいさつを交わす程度で、それ以上のつきあいはしてない
- 5 ほとんどかかわっていない
- 6 その他（ ）

13. ご近所づきあいについて、あなたのお考えに最も近いものは（いずれかひとつに○）

- 1 日頃からなんでも協力し合えるつきあいが良い
- 2 何か困ったことがあれば家庭や個人のことで相談できるつきあいが良い
- 3 世間話をする程度のつきあいが良い
- 4 会えばあいさつを交わす程度で、それ以上のつきあいはないほうが良い
- 5 なるべくかかわりたくない
- 6 その他（ ）

14. あなたは、生活のなかで困ったときに近所の人に助けてほしいと思いますか（いずれかひとつに○）

- 1 困ったときには、近所の人に助けてほしいと思う（現在支えてもらっている場合も含む）
- 2 助けてほしいが、難しいと思う
- 3 近所の人に助けてほしいとは思わない
- 4 わからない
- 5 その他（ ）

15. あなたは、「地域で助けあう福祉」を推進していくことについて、どのように思いますか

（いずれかひとつに○）

- 1 市民一人ひとりが、協力できることをすべきである
- 2 個人では難しいので、地域の団体などが中心になって取り組むべきである
- 3 福祉は行政の仕事なので、行政がやるべきである
- 4 特に助けあう必要はない
- 5 わからない
- 6 その他（ ）

16. あなたは、日常生活で、地域の人に助けてもらっていることはありますか、地域の人に助けをほしいと思うことがありますか、将来助けってもらうことになりそうなことがありますか

(①～⑧までそれぞれ当てはまるものひとつに○)

	現在、地域の人に 助けてもらっている	地域の人に助け てもらいたいと思う ことがある	将来、助けてもら うことになりそう	いずれもない
記入例 ②ちょっとした買い物やごみ出し、草刈りなど	1	②	3	4
①安否確認や見守り	1	2	3	4
②ちょっとした買い物やごみ出し、草刈りなど	1	2	3	4
③外出や通院の介助または送迎	1	2	3	4
④子育て家庭の家事支援	1	2	3	4
⑤子育ての仲間づくり	1	2	3	4
⑥一時的なこどもの預かり	1	2	3	4
⑦話し相手や相談相手	1	2	3	4
⑧その他()	1	2	3	4

17. あなたが地域の助けあいとして行っていることはありますか。また、できそうなことはありますか

(①～⑬までそれぞれ当てはまるものひとつに○)

	現在、行っている	できそうである	できないと思う
記入例 ①安否確認や見守り	①	2	3
①安否確認や見守り	1	2	3
②ちょっとした買い物やごみ出し、草刈りなど	1	2	3
③外出や通院の介助または送迎	1	2	3
④子育て家庭の家事支援	1	2	3
⑤子育ての仲間づくり	1	2	3
⑥一時的なこどもの預かり	1	2	3
⑦話し相手や相談相手	1	2	3
⑧災害時の手助け	1	2	3
⑨町内の清掃活動	1	2	3
⑩防犯パトロールなどの見守り	1	2	3
⑪趣味やレクリエーションの指導	1	2	3
⑫祭りなど地域の行事の手伝い	1	2	3
⑬その他()	1	2	3

災害時の避難についておたずねします

18. 地震や風水害の災害時に、だれもが安全に避難などができるようにしていくうえで、あなたが気になることはありますか（当てはまるものすべてに○）

- 1 近所に自分では安全に避難できないと思う人がいる
- 2 避難場所やそこまでの経路がわからない
- 3 本人、もしくは家族の介護や生活支援が必要なので、避難所で生活できるかどうか心配である
- 4 その他（ ）
- 5 特に気になるところはない

19. 災害時に誰もが安全に避難などができるよう地域で支えあうために、支援が必要な人の情報などを地域で共有することについて、どのように思いますか（いずれかひとつに○）

- 1 情報が適切に管理されプライバシーが守られるのならば、個人の情報を提供しても良いと思う
- 2 どのような場合であっても、個人の情報は提供したくないと思う
- 3 わからない
- 4 その他（ ）

地域の活動についておたずねします

20. あなたは、地域で活動しているつぎのような方々をご存知ですか

（①～⑧までそれぞれ当てはまるものひとつに○）

	よく知っている	知っている	聞いたことはある	まったく知らない
記入例 ⑥ボランティアセンター	1	②	3	4
①自治会	1	2	3	4
②民生委員・児童委員	1	2	3	4
③大和市社会福祉協議会	1	2	3	4
④地区社会福祉協議会	1	2	3	4
⑤地域包括支援センター	1	2	3	4
⑥ボランティアセンター	1	2	3	4
⑦子育て支援センター	1	2	3	4
⑧NPO 法人	1	2	3	4

21.あなたは、地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください (当てはまるものすべてに○)

1 健康づくりに関する活動	2 高齢者に関する活動	3 障がい児・者に関する活動
4 子育てに関する活動	5 医療に関する活動	6 町内会・自治会に関する活動
7 お祭りやイベントに関する活動	8 地域安全に関する活動	9 環境美化に関する活動
10 文化・芸術に関する活動	11 スポーツ(運動会などを含む)に関する活動	
12 参加したことがない		
13 その他()		

22.あなたは、今後どのような活動に参加したいと思いますか (当てはまるものすべてに○)

1 健康づくりに関する活動	2 高齢者に関する活動	3 障がい児・者に関する活動
4 子育てに関する活動	5 医療に関する活動	6 町内会・自治会に関する活動
7 お祭りやイベントに関する活動	8 地域安全に関する活動	9 環境美化に関する活動
10 文化・芸術に関する活動	11 スポーツ(運動会などを含む)に関する活動	
12 具体的にはわからない	13 特に参加したいとは思わない	
14 その他()		

23. 市民が地域活動やボランティア活動に参加しやすくなるためには、どのような条件づくりが必要だと思いますか (当てはまるものすべてに○)

1 活動に関するさまざまな情報提供	2 気軽に相談できる窓口
3 知識や技術を身につけるための研修	4 活動に関するアドバイザーの派遣
5 活動のための仲間やグループづくり	6 活動ができる身近な場(施設)
7 活動に必要な費用の援助	8 特にない、または、わからない
9 その他()	

24.あなたの近所には、気軽に立ち寄れる、又は集える場所がありますか (いずれかひとつに○)

1 ある	2 ない	3 わからない
------	------	---------

25. 24で「1 ある」とお答えの方にお聞きします。それは、どのような場所ですか

(当てはまるものすべてに○)

1 高齢者福祉施設	2 障がい者福祉施設	3 子育て支援施設
4 学校	5 生涯学習センター	6 コミュニティセンター
7 自治会館	8 個人宅	9 その他()

26.その他大和市の福祉に関してご意見等がございましたら、自由にご記入ください

大和市地区割図

※この地区割は地区社会福祉協議会の
担当地域で分けたものです。



ここからは、墓地・納骨堂に関する調査です

お墓についておたずねします

27. あなたはお墓を取得したいと考えていますか。(いずれかひとつに○)

- | | | |
|---------|----------------|---------|
| 1 取得したい | 2 取得したいと考えていない | 3 わからない |
|---------|----------------|---------|

↓
28にお進みください

↓
33にお進みください

---〔27で「1取得したい」と回答した方におたずねします〕---

28. 取得したいと考えている理由はなんですか (いずれかひとつに○)

- | |
|-------------------------|
| 1 現在、納めたい遺骨がある。 |
| 2 現在、納めたい遺骨はないが、将来のために。 |
| 3 改葬をしたい遺骨がある。 |
| 4 その他 () |

29. お墓の取得時期は、いつ頃を考えていますか (いずれかひとつに○)

- | | | |
|---------|--------------|---------|
| 1 すぐにでも | 2 5年以内 | 3 10年以内 |
| 4 20年以内 | 5 20年を超えてもよい | |

30. お墓を選ぶうえで、重視する条件は何ですか (当てはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------------|-----------------------------|---------|
| (家から近いこと) | | |
| 1 市内 | 2 近隣市内 | 3 県内 |
| (立地) | | |
| 4 駅から近い | 5 静かなところ | 6 周辺の景観 |
| (その他) | | |
| 7 お墓の形態※ | 8 墓地の経営者 (地方公共団体・宗教法人・公益法人) | |
| 9 取得費用、管理費用 | 10 その他 () | |

※「7 お墓の形態」とは、墓石型墓地、集合型墓地などの墓地の形態をいいます。

31. 取得したいと考えるお墓の形態は、次のどれですか (いずれかひとつに○)

- | | | |
|----------|--------------|----------|
| (個別のお墓) | 1 伝統的な墓石型のお墓 | 2 芝生型のお墓 |
| (集合型のお墓) | 3 集合型のお墓・納骨堂 | 4 合葬型のお墓 |
| (その他のお墓) | 5 その他 () | |

32. お墓の取得にかかる費用(使用料、墓石代等)は、どの位を考えていますか (いずれかひとつに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 50万円未満 | 2 50万円以上100万円未満 |
| 3 100万円以上200万円未満 | 4 200万円以上300万円未満 |
| 5 300万円以上 | 6 わからない |

34にお進みください

〔27で「2取得したいと考えていない」と回答した方におたずねします〕

33. 取得したいと考えていない理由は何ですか（自由にお書きください）

--

34にお進みください

〔すべての方におたずねします〕

34. 今後、大和市において望ましいと考えられるお墓の形態は、次のどれですか。（いずれかひとつに○）

- | | | | | |
|----------|---|------------|---|--------|
| （個別のお墓） | 1 | 伝統的な墓石型のお墓 | 2 | 芝生型のお墓 |
| （集合型のお墓） | 3 | 集合型のお墓・納骨堂 | 4 | 合葬型のお墓 |
| （その他） | 5 | その他（ | | ） |

35. 墓地等があなたの家の周辺に建設される場合、どのように考えますか（いずれかひとつに○）

- | | | | |
|---|--------|---|---------------|
| 1 | 反対である | 2 | どちらかといえば反対である |
| 3 | やむを得ない | 4 | どちらかといえば賛成する |
| 5 | 賛成する | 6 | わからない |

〔35で「1反対である」「2どちらかといえば反対である」と回答した方におたずねします〕

▶ **36. どのような形態の墓地であれば、受け入れられますか**（いずれかひとつに○）

- | | | | | |
|----------|---|-------------------|---|--------|
| （個別のお墓） | 1 | 伝統的な墓石型のお墓 | 2 | 芝生型のお墓 |
| （集合型のお墓） | 3 | 集合型のお墓・納骨堂 | 4 | 合葬型のお墓 |
| （その他のお墓） | 5 | その他（ | | ） |
| （その他） | 6 | どのようなお墓でも受け入れられない | | |

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

回答内容をご確認の上、同封の返信用封筒に入れ、**平成25年7月3日(水)まで**に投函してください。